

Vol.118

祝・卒業

2025年
2月28日発行

河瀬中・高 PTA 通信



志

—中国の『後漢書』に由来する校訓—

「志があれば、なんでもできる！」



感謝とともに、次のステージへ！

ASKの先に広がる未来

PTA会長 小林 佳弘



新たな一步を踏み出される皆さん、
おめでとうございます。

人類は進化しています。野球界では
オオタニさんのような超人も登場しま
す。そういう意味で約50年を生きた私より皆さんの方
が進化した人間です。ポテンシャルに溢れた自分に自信
をもって前進してください。皆さんは生成AIを使いこな
し先人とは違う未来を生きるでしょう。ただ、私たち
のような先人・先輩をバカにせずASK(頼む・求める・質
問する)できる人になって欲しいと思います。それには
素直さ、謙虚さ、可愛げなどが求められます。そんな風
にASKされたら私は嬉しく何かをあげたいと思わずには
いられないです。ネット上の英知(=AI)で完結するのと
は違う貴重な関係が生まれたり、予想外の道が開けるか
もしれません。そんな感じで人生を楽しんでください。

卒業に寄せて



校長 田濃 良和

中学校、高校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうご
ざいます。

卒業生の保護者等の皆様におかれましては、お子様が立
派に成長され、栄えあるこの日を迎えられましたこと、心
よりお祝い申し上げます。また、これまで本校の教育活動にご理解とご協力を
を賜り、深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さんの過ごした学校生活は、とても変化の激しい3年間あるい
は6年間となりました。その中で、数多くの貴重な経験をしたこと、工夫しチャ
レンジしたこと、またそこには共に過ごした仲間やいつも支えてくれた家族
がいたこと、すべてが皆さんの宝物です。これからの人生でも、自分自身を
信じ、まわりの人を大切にし、志をもって生きていってください。しかし、
時には傷つき、悩み、つらいこともあるかもしれません。「生
きてるだけで丸もうけ」(明石家さんまさんの言葉で、娘
IMARUさんの名前の由来だそうです)。卒業生の皆さんの
前途が明るく、幸多いことを心からお祈りしています。





羽ばたきゆく君たちへ

PTA活動ご協力への感謝

教育振興会会長 山本 喜彦

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にはお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

私はこの6年間、PTA役員として活動させていただきました。河瀬中学高等学校の先生方は、進学校として生徒たちの未来を大切にし、教育指導に多くの時間を割いてくださっています。進学や進路に関するご指導におい

ても、土日を問わず熱心に取り組んでいただきました。そのような先生方のご尽力に感謝し、私も保護者の一人として少しでも力になりたいと思い、PTA活動を続けてまいりました。これもひとえに、保護者の皆様の温かいご協力があってこそその成果です。

在校生保護者の皆様へお願い申し上げます。お子様たちがこれからも安心して学業に専念できる環境を維持するために、PTA活動へのご参加とご支援をよろしくお願いいたします。

自分を大切に

中学PTA副会長 吉村 真弓

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

中高一貫の河瀬中学校に入学し、ようやく半分。4月からの生活も今と大きく変わらない方が多いかも知れせん。でも、15歳。とても大きな節目です。今後は、教育の義務から外れ自らの意思で学びます。自己実現に向けて、

学べることに喜びを感じ、これからも励んでください！

いち保護者として、親の立場からひと言。「ただ生きてくれているということが一番大事」。親の願いの根底にあるのはそれだけです。みなさんが自分を大切に、未来を大切にしてくれていればそれで十分。ここまで元気に成長され、卒業の日を迎えられたことに、心からありがとう。これからの人生も応援しています。

「負けない」人生を

高校第3学年主任 吉田 裕



「さまざまの事おもひ出す 桜かな」芭蕉

卒業式のみなさんの胸を飾る桜のコサージュは、3年間のさまざまな出来事を思い出させてくれるのではないのでしょうか。みなさんはここ河瀬高校で、学習、自主活動、さまざまなことに取り組んできました。ときに喜び、ときに悩み、さらには反発しながら、飛翔する力を身に着けました。「さまざまの事」がありました、すべてを乗り越えてこの日を迎えられた40期生のみなさん！おめでとう！

ミュージカル「回轉木馬」のラストシーンは父親を亡く

した娘の卒業式の場面です。校長先生が「You' ll Never Walk Alone」という歌を感動的に歌い上げます。

When you walk through a storm. Hold your head up high. And don't be afraid of the dark. ... You' ll never walk alone. サッカーの応援でも使われる名曲です。

「あなたは一人じゃない」負けそうになったとき、この事を忘れないでください。

「勝つことよりも負けないことである。負けない人生は必ず勝利の人生となる」わが師から贈られた言葉をみなさんにも贈ります。

みなさんの人生が実り多きことを祈ります！

卒業生のみなさんへ

中学第3学年主任 池田 匠二郎



3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。入学式の時にみなさんと出会ってから、もう3年が経つんですね。思い返すと、やはり「あっという間だったな」と感じます。

この3年間で、私はみなさんの凄さに何度も触れてきました。学習面で「この人凄いな」と思うことがあった。部活動中の姿を見て「やるなあ」と思うことがあった。行事の時や、休み時間の何気ない会話の最中に「おおっ」と思われることもありました。誰しもが何らかのキラリと光るものを持っていました。そんな凄さをみなさんから感じる度に、私は人知れず密かに感動していたものです。是非、

自分の良さをこれからも育てていってほしいと思います。それともう一つ、進学先に持って行ってほしいものがあります。それは「中学時代の失敗や後悔」。「人生は失敗や後悔の連続」とはよく言いますが、中学時代こそ失敗や後悔の「宝庫」。みなさんもたくさんしてきたはず。「もっとああしておけばよかった、」「なんであの時、」。傷ついたこともあっただろうし、時には人を傷つけてしまったこともあったかもしれない。そんな思いを忘れずに持って行ってほしい。失敗や後悔は君たちを必ず高めてくれます。なぜならそれらは痛みを伴ったはずだから。失敗や後悔のことを別名で「経験」と言います。これらの経験は君たちの宝です。この中学校での経験を大事に手に持ち、これからの人生で自分をさらに高めていってほしいと思います。



高校生 思い出



2年 修学旅行



1年 入学式



1年 SDGs
カードゲーム



1年 ドッチ



2年 球技大会



3年 文化祭



3年 USJ



3年 体育祭



中学3年生 思い出



西海洋民泊離村式



高校3年

1組



ご卒業おめでとうございます 1組担任 齊内秀記



皆さん、ご卒業おめでとうございます。
この学年には1年生のときからかわらせていただきましたが、皆さんの卒業式を迎えて、時間の経過は早いものだとつくづく実感します。なにはともあれ、皆さんのご協力のおかげで、ここまでたどり着くことができました。

『HUNTER×HUNTER』という漫画をご存じでしょうか？ その漫画のワンシーンで、ゴトーというキャラクターが世界に旅立つ主人公に向かって、「世の中、正しいことばかりではありません」と告げます。これは、おおむね事実だと思います。世の中の理不尽さを自覚しないと、不利益を被る場面も多いです。ですが、同じく『HUNTER×HUNTER』から、ジンというキャラクターが主人公に向かって「大切なものは欲しいものより先に来た」と言います。高校生活の3年間で皆さんが経験したことの中に、結果や目的の達成いかにかわらず、素晴らしいものがあることも事実だと思います。

改めて、ご卒業おめでとうございます。皆さんの門出を、心からお祝い申し上げます。

高校3年

2組



アマゴからサツキマスへ 2組担任 久保田秀和



春の訪れと共に全国の河川で渓流釣りが解禁され、太公望たちが川へと繰り出す(私も以前はその一人)。対象魚はアマゴ・ヤマメ・イワナである。アマゴ・ヤマメは「渓流の女王」ともいわれ、高級魚として名高く、美しい流線型の魚形とパーマークと呼ばれる斑紋が釣り人を川へと誘う。

さて、この三種の魚には面白い性質があるので紹介する。これらの魚には河川型(ダムや湖などに封じ込まれたため河川やダム、湖で一生を終えるもの(陸封型ともいう))と降海型(生後暫くは河川にとどまるが、その後海に下りまた元の川に遡上するもの)がある。降海型をそれぞれアマゴはサツキマス、ヤマメはサクラマス、イワナはアメマスといい、風貌、体長が一変する。風貌はパーマークが消えギンケ(サケに似た風貌に変化)し、体高が伸び、体長は30cmが60cmとなりどう見ても別種の魚である。しかし、遺伝学的には何の差もない同種の魚であり、環境(餌、水温、水流、塩分等)が魚を別物に変えてしまう。

このことは、これから人生を歩む皆さんにも当てはまる。皆さんは今河川型から降海型へと移行しようとしている。準義務教育の12年間は将に河川型の生活であった。しかし、今日からは降海型へのスタートである。弱々しい体や心から強く逞しい身体と精神力に生まれ変わる。全く同じ人間が環境によって大きく成長した自分へと変貌する。ぬるま湯に浸かることなく、アドバンスという餌を一杯食べ、与えられた環境で自己を精一杯磨けば、肉体的、精神的に二倍、三倍に成長する。

私は、このことを卒業後、本校に訪れる先輩たちに感じる。在校時には考えられない程の成長した姿を見せてくれる。環境と白鷺が人を変えるのである。卒業生全員がアマゴからサツキマスに成長することを心から願う。さようなら。お元気で。

高校3年

3組



卒業に寄せて 3組担任 富岡理恵



コロナ禍で始まった春から早や3年が経ちました。様々な事象に世界中が翻弄されているような状況で高校生となった皆さんですが、懸命に、時に柔軟に進路実現に向き合い、逞しく成長してくれました。

これから皆さんは大人として社会で生きていくことになり、様々な人や出来事に遭遇するはずですが、自分自身で乗り越えていくことと同時に、信頼できる仲間と助け合いながら成長して欲しいと思っています。困難に直面した時には、これまでの経験と学びを活かし、前向きに挑戦し続けてください。そして、どんな時も感謝の気持ちを忘れずに、周囲の人々と協力し合いながら、素晴らしい人生を築いていってください。

厳しい表情で、暗くなるまで学校に残って一生懸命勉強していた皆さんを思い出します。志望校の発表後、泣いたり喜んだりしていた皆さんを思い出します。全力で頑張ることは本当に辛いけれど、素晴らしいことです。皆さんがそれを証明してくれました。我々担任団もそうですが、何よりも皆さん自身がこの高校生活を誇りに思い、これからの人生で悩んだり苦しんだりする時には是非思い出して、自信につなげて欲しいと思います。

新しく始まるそれぞれの場所で満開の花を咲かせてください。心から応援しています。

高校3年

4組



変化のとき

4組担任 上田美穂子



卒業おめでとうございます。皆さんは河瀬中学校・高等学校で6年間の学校生活を過ごしてきました。同じ環境で生活続けることには、慣れ親しんだ場所で過ごせる安心感があったと思いますが、思うようにいかないことや辛いことに直面した時には、大変に感じたこともあったでしょう。そんな中で、皆さんはよくやってきましたね。

この学校を卒業するということは、守られた環境で過ごした6年間と別れ、新しい環境に飛び込むことを意味します。これからは、自分の力で新しい人間関係を築き、さまざまな活動に挑戦していくことになります。その中で、うまくいかないことが起こるかもしれません。しかしながら、困難な時こそ、自分が変わるチャンスでもあります。

4月からは、大きな変化が皆さんを待っています。この変化を受け止め、いろいろなことに会って、時には立ち止まりながら経験を積み重ねていってください。元気に新しい生活を送ってもらえるよう祈っています。 さよーなら またいつか

高校3年

5組



50-50

5組担任 原田 裕



ご卒業おめでとうございます。進学や就職にあたり、これからは今までよりも遙かに大きな世界に飛び込み、多くの他者と関わることになります。ただ、今までもそしてこれからも変わらないことがあります。それは皆さん一人一人が「尊重されるべき、かけがえのない存在」だということです。また、自分以外の他者も同じく大切な存在であり、お互いに尊重し、助け合って生きていってくださいね。他者と関わる際に大切なのは「50-50」です。「50-50」つまり、五分五分で対等な関係を築けたときに最も大きな力が生まれます。自分が偉ぶったり、必要以上に謙ったりして「20-80」になると1600の力しか生まれず、「50-50」で生まれる2500の力に遠く及びません。私たちは一人では生きていけない。決して傲らず、謙虚に、感謝を忘れず、しかし堂々と自分の力を信じて、幸せな未来を切り拓いていってください。お元気で。ありがとう。

私を成長させてくれた高校生活



同窓会幹事 3年3組 笹原麻鈴

入学式が最近のことと思えるほど、あっという間の高校3年間でした。河瀬高校で過ごした日々は充実しており、まさに青春そのものでした。楽しいことや辛いこと、さまざまな経験がありましたが、そのすべてが私を成長させてくれたと感じています。

この3年間、支えてくれた仲間や家族、先生方には心から感謝しています。どんな時も励まし合い、共に過ごした仲間との絆は、私にとってかけがえのない宝物です。これからは、高校での経験を生かしてさらに自分を高め、さまざまなことに挑戦していきたいと思います。3年間ありがとうございました。

変化のとき



同窓会副幹事 3年1組 松井七海

6年間ありがとう

6年前の春、私は期待に胸を膨らませ、河瀬中学校・高等学校に入学しました。6年間の学校生活はとても充実していました。

仲間との出会いや学びの中で、様々なことを経験し、大きく成長することができました。時には失敗や挫折もありました。それを乗り越えられたのは、自分一人の力ではありません。今の自分があるのは、仲間や先生方、家族の支えがあったからだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもさらに成長できるよう努力してまいります。6年間ありがとうございました。

中学3年
1組



天高く、舞い上がれ！1組担任 葛川 星斗



皆さんの目の前には無限の可能性が広がっています。挑戦することで、まだまだ多くのことを学べるでしょう。空高く舞い上がる風のように、新たな世界へ飛び立つのです。ここで、忘れてはいけないのは、どれだけ空高く舞い上がった風でも、必ず地上で風糸をギュッと握りしめてくれる人がいるということです。これから先、皆さんの未来は順風満帆で良いことばかりではないでしょう。世界が広がる分、今まで想像もしなかった困難が待ち受けているかもしれません。しかし、あなたには、支えてくれる家族がいます。どんな嵐がきても、決して風糸を離すことなく、あなたの成長を見守ってくれる家族がいるのです。中学校卒業をもって、義務教育期間は終了です。これから先、どんどん親の手を離れていき、自分の力で歩んでいかなければなりません。でも、絶対に感謝の心を忘れてはいけませんよ。卒業おめでとう。

中学3年
2組



チャレンジ精神 2組担任 田口 翔平



ご卒業おめでとうございます。河瀬中学校での3年間の生活は、充実したものでしたか。河瀬中学校に入学して、課題の多さや学習内容の難しさに嘆いていた人も多かったと思います。日々の授業をはじめ、皆さんの頑張りで学習面や精神面において大きく成長しましたね。

学年集会の場で、プログラミングに興味を持って勉強しているという話をしたことがありましたね。きっかけは面白そうだなと思ったことだけです。私の中での新しい挑戦でした。何事もまず挑戦してみることは本当に大切だと思います。何がきっかけになるかはわかりません。なんでもいいです。やりたいと思ったタイミングが、人生の転機かもしれません。様々なことに興味を持ち、挑戦する気持ちを忘れないでください。これからは高校生として、自分の将来を考え、新たな人生の道を切り拓く時です。仲間たちと過ごす時間を大切に、互いに高め合える、そんな素晴らしい集団となってください。皆さんの更なる活躍を期待しています。お元気で。3年間ありがとうございました。P.S. 2025年は毎日、日記を書くことに挑戦しています。今のところ続いています。

国スポ障スポリハーサル大会運営を支えました



生徒会執行部 10名が「ボウリング競技」のアナウンス係やおもてなし係を務めました。



高校1年生 13名が「なぎなた競技」の表彰係や得点係を務めました。

税の作文コンクール中高4名が受賞



中学3年の生子咲さん、平居里那さん、高校1年の榊原帆乃佳さん、蛭田詩乃さんが受賞し、校長室にて表彰が行われました。

彦根発・笑顔いっぱいプロジェクトアイデア賞受賞



平和堂・麒麟ビール・プリDESTONの3社共同プロジェクトにおいて、高校2年の宿村咲綾さんの企画がアイデア賞を受賞し、ビバシティにて表彰式が行われました。



新型コロナウイルス感染症の影響により、実に6年ぶりの海外修学旅行でした。初めての海外旅行という生徒も多く、出発前は緊張した面持ちでしたが、期間中は天候にも恵まれ、楽しく4日間を過ごすことができました。中でも、現地の高校生や大学生との学校交流、班別行動では、「国」という枠を越えた交流ができ、生涯忘れることのない体験ができたのではないかと思います。今後は生徒たちの進路実現に向けて学年団一同尽力したいと思います。引き続きご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



部活動の記録

高校 文化部

◇ESS部

しがンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト
橋 真菜 本選出場

◇科学部

全国高総文祭出場
生物班(堀部侑正、堀部晃正、外川大智、村松晃友)
学生科学賞展優良賞 日本学生科学賞中央出品
滋賀県高総文祭自然科学部門研究発表会 兼
滋賀県児童生徒科学研究発表(全国予選) 生物部
門 1位 総合 1位 松澤春華、田場 諒、市川巧人、
宮陽翔、覚野捷真 2025年度全国高総文祭出場決定

◇写真部

全国総文祭出場 中上 空
滋賀県高総文祭写真部門 特選3位(滋賀県高等学校文化連盟賞、全日本写真連盟・朝日新聞社
賞受賞)・入選3位 島田結衣 佳作 寺村隼汰
2025年度全国高総文祭出場決定
Nikon第4回TopEyeフォトコンテスト 銅賞 寺村隼汰

◇文芸部

滋賀県高総文祭文芸部門 散文部門 第1位 蛭
田詩乃 俳句部門 第7位 村木こころ

◇吹奏楽部

滋賀県高総文祭吹奏楽部門出場・2025年度全
国高総文祭出場決定

第53回滋賀県アンサンブルコンテスト

【フルート3重奏】金賞

第20回中部日本個人重奏コンテスト滋賀県大会
重奏の部【打楽器3重奏】金賞

第20回中部日本個人重奏コンテスト滋賀県大会
重奏の部【サクソフォン4重奏】銀賞

第27回関西ステージマーチングフェスティバル出場

◇書道部

読売高校・一般紙上書道展2024年上期 三席 石田香穂
読売高校・一般紙上書道展2024年下期 一席 藤井佑馬
大東文化大学主催第65回全国書道展
審査員奨励賞 石田香穂 推薦賞 本田萼美・
藤井佑馬・青木結暉 審査員奨励賞(団体)

高校 運動部

◇陸上競技部

秋季総体 男子110mH 2位 小西一暉
男子ハンマー投げ 8位 八木奏磨
女子1500m 3位 村上令奈
男子4×100m R 8位 鈴木康史・八木奏磨・
安積紫音・小西一暉

◇女子ハンドボール部

秋季総体 3位

◇剣道部

県民スポーツ大会 女子団体 ベスト8
第62回近畿高等学校剣道大会 女子団体 出場

中学 文化部

◇写真部

滋賀県高総文祭写真部門 優秀賞 宮田虎太郎

◇吹奏楽部

第53回滋賀県アンサンブルコンテスト 北部地区大会【バリ・
チューバ3重奏】金賞 県大会【バリ・チューバ3重奏】銅賞
第20回中部日本個人重奏コンテスト滋賀県大会 個人の部【クラリ
ネット】銀賞【バリトンサクソフォン】銀賞 重奏の部【木管5重奏】金賞

◇書道部

読売紙上書道滋賀展 二席 家森美緒
多賀町主催豊かな言の葉書道展
最優秀賞 鈴木恵里加、(株)呉竹賞 家森美緒、特選 吉田優美
第52回JA共済滋賀県小中学生書道コンクール 佳作 中本めぐみ

中学 運動部

◇陸上競技部

夏季総体 四種競技 7位 大村千彩都 男子400m 5位 岩谷大翔
女子 2・3年800m 3位 山本ひなの
秋季新人大会 男子共通110mH 6位 巨椋航介
男子共通400m 6位 野口諒一 女子共通800m 1位 山本ひなの

◇卓球部

秋季新人大会第6ブロック大会 男子団体 1位
県中学生卓球大会 男子団体
第1ステージ(北部地区予選)2位 第2ステージ(決勝大会)ベスト8

オーストラリア 海外短期派遣研修

新しい自分。将来の夢。一生の友達。

英語を学ぶ、 その先にあるもの。

夏休みを利用して、オーストラリアのクイーンズランド州ケアンズへ留学する「海外短期派遣研修」。今年は中学生1名、高校生18名が参加しました。昨年は9泊11日でしたが、今年は円安、物価高の影響で7泊9日の実施となりました。

この研修は、学校生活体験や交流プログラム、ホームステイ体験等を通して「実際に使える確かな英語力」を習得すること・異なる文化の人々との相互理解・日豪共通の社会課題や世界情勢などについて考えるきっかけとなるよう、2011年から実施されています。

研修に参加されたみなさんの声を取材しました。

日程表

7/27(土)

出発



7/28(日)

ケアンズ
周辺観光



7/29(月)～8/2(金)

学校



8/3(土)

ホストファミリー
と過ごす



8/4(土)

帰国



英語で広がる、新しい世界。

異文化を肌で感じることができました。想像通りのこともあったけど、それ以上のこともたくさんありました。



高校1年3組 田場 諒

思ったより話しかけられて驚きました。みんなフレンドリーで、英語ができなくても仲良くなれました！



高校1年2組 田村安輝斗

「日本の料理を作ってみて！」と言われてお好み焼きを振る舞いました。現地で材料を調達して作るのは新鮮でした。



高校1年3組 杉田 花琳

将来、英語に関する職業に就くことも視野に入れられるようになりました。



高校1年2組 國領ひかる

今後、もっと英語を勉強して、ひとりでオーストラリアへ行き、ホストファミリーの元を訪ねたいです。



高校1年2組 松澤 春華

うまくしゃべれなかったからこそ、英語を勉強するモチベーションが上がりました。将来は英語を活かした仕事に就きたいです。



高校1年2組 野村 美羽

オーストラリアと 日本の違い

食事が1日5回！

朝食・間食・昼食・間食・夕食の5食がキホン。

内容も、パンのみで終わるなど質素なものが多く、日本のように「主食・主菜・副菜」を揃えることはありません。



早寝早起きの習慣

質の良い睡眠のため、20時頃スマホの使用をやめ、21時頃に就寝。朝は5:00～6:00頃起床します。ほかにもランニングをしたり、健康意識が高い人が多い！



あちこちにワラビーが！

日本では動物園でも見かけることの少ないワラビー。オーストラリアでは野生のワラビーが多く生息しています。

家の庭を我が物顔で通っていることも…。



Q 英語が苦手でも大丈夫？



**A 伝えたい気持ちが
あれば大丈夫！**

高校1年2組
野村 美羽

私は英語が苦手で、現地では正直何を言っているかわからないことも多かったです。ですが、雰囲気やジェスチャーでもコミュニケーションをとることができました。また、相手もこちらの言いたいことを一生懸命理解しようとしてくれました。自分の意見が通じた時は嬉しかったです。

Q 帰国してもバディ[※]と交流はある？



**A インスタでやり取り
しています！**

高校1年2組
松澤 春華

投稿にコメントしたり、されたりします。たとえば、星が写っている写真に「星がキレイだね」というと「日本は街の光で見えにくい？」と聞かれたりします。現地ではバディの友達とも仲良くなれるので、友達の国際化が進みました。

バディ…現地校で、学校生活をともにする生徒のこと。

Q 英語学習に対する意識は変わった？



**A 勉強のモチベーションが
上がった！**

高校1年3組
宮村 喜翔

留学したことで“外国へ行くこと”のハードルが下がりました。みんなフレンドリーで優しかったので、海外の方と関わる仕事がしたいと思いました。そのために、もっと英語力を上げられるよう頑張りたいと思いました。

Q 英語以外に学べたことは？



**A 積極的に人に話しかけたいと
思うようになりました。**

高校1年2組
田村安輝斗

行く前は「あんまり話しかけられないかな」と思っていたのですが、実際は友達のように気さくに話しかけてくれました。英語をうまく話せない僕にもどんどん話しかけてくれる彼らを見て、自分も将来仕事などで人と会った時に、積極的に話しかけたいと思いました。



オーストラリアのメジャースポーツ・クリケットを授業で体験しました。クリケットをするのは初めてでしたが、現地の先輩生の方が丁寧に教えてくれたので、やっていくうちに上手にできるようになりました。英語での交流が難しい時でも、スポーツをすることで心を通わせることができたように思います。

帰国日、ケアンズ空港にて



高校1年3組
高居 秀時

今からイメージする将来のこと 初開催!卒業生によるキャリアトーク!



2024年11月7日に河瀬高校の卒業生11名を講師に招き、高1・高2生を対象に行われたキャリアトーク。OBが現在の職業につくまでに歩んできた道のりを輪になって聞いたり、質問したりと生徒に刺激になったようで素晴らしい取り組みだと思いました。



人それぞれ選択のタイミングやきっかけがバラバラで勉強になりました。講師の方が“楽しみにしてきました!”“来て損ないし、むしろ勉強になるかと思ってすぐ来ることを決めました!”とお話してくださって、普通の講演会より近くで聞けるスタイルがとても楽しかったです。将来やりたいことが今はなくてもいつかピピっとくるしたいことが降ってくるように、様々なことに興味を持つことや人との関わりなどのいろんな経験を積極的にしていきたいなと思いました。



自分の興味にあることや、やりたいことは後悔がないようにとことんしたいと思った。

河瀬高校卒の先輩方のエピソードだったので、とても親近感が湧いて自分の可能性がもっと広げられるかもしれないと感じた!



様々な業種の方の話を聞くことができ楽しかったし、いい勉強になった。自分の進路選択について考えながら聞くことができ進路の幅を広めることができた!



綺麗事だけじゃなくしんどいことや辛いことなども聞けて良かった。実際に働いてる人の話なので説得力があった!

キャリアトーク仕掛け人、久保川先生に聞く!



昨年12月に守山市で行われた第1回オモロー授業発表会に登壇した久保川剛宏先生。講演タイトル「教科とナニカを! レッツ・ラ・まぜまぜ! オモロー授業できあがり!」

Q 色々新しい取り組みを支えておられますが、河瀬はどんな学校ですか? ?

A 昔から新しい取り組みにも理解があって挑戦しやすい学校ですね!

Q キャリアトークはどういう想いで実現に至ったのですか?

A セレンディピティ(偶然の幸運な出会い)ですね。そこからつながりが広がり、実現しました。学校の外との出会いや繋がりを大切にしています。

Q マチコミの案内で学校の取り組みとは別に「第1回オモロー授業発表会」で登壇されると聞きました・・・

A はい。“市民の力で教育を楽しく変えよう”というイベントで長女と一緒に登壇しました(笑)。でも、これくらいゆるい感じで教育を考えたらと思います。元々“教育”は子供たちの未来を創る手段であり、それは“地域の未来”、“国の未来”、“人類の未来”を創ることと同義だと思っています。そんな学校が閉ざされているのはやはり不健康な状態。YouTubeに教科書を伝えるだけなら私よりうまい授業は五万とありますし、生成AIが東大の数学を2分程度で解く時代です。学校や教育が変わっていかないといけないのは間違いないと感じています。保護者のみなさんにもiPadを使ったICT教育を体験してもらう企画とかもできたら面白いですね!

PTA広報部が行く

学校の魅力探訪

生徒が集う!

大臣表彰受賞の図書館が面白い!

「子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けた本校。しかし、司書の森本さんが来た8年前は『ザ・図書館』という少しお堅い雰囲気図書館だったという。

明るく楽しく生まれ変わった空間に「森本先生～♪」と慕い集う生徒に聞いてみた。

ビブリオバトル京都大会で準優勝できました! おススメ本「同志少女よ、敵を撃て」が誰かに刺さって欲しいと5分間発表しました!

ビブリオバトル京都大会では緊張しましたが決勝まで進めました。青春サスペンス「透明になれなかった僕たちのために」の紹介をしました。

読みたい本を無茶ぶりでリクエストしても大体入れてくれるんです。先生に「読んでみて～」と持っていくと共感してもらえるのがうれしい。夏は涼しく、冬は暖かくて心地よい環境なので入り浸っています!

ラノベ(ライトノベル)など中学生が読みたい本を分かっている!

ささるコーナーがある! 本が整っているし、並び方が分かりやすい。

学校説明会でこの図書館をみて憧れて入学しました!

中学生
中学生
中学ビブリオバトル
京都大会決戦会出場組
(※18人中4名しか決勝にいけない)

高校生
高校生
高校生図書館大好き
入り浸り組

左から司書の森本春菜さん、廣野来美さん(中2)、小西樺乃さん(中1)、池本和葉さん(高2)、栗田芽生さん(高2)

図書館改革の仕掛け人、司書 森本さんに聞く!

Q どんなテーマを持って図書館改革を進められたのですか?

A 「親しみやすい学びの場」を目指し、足を運んでもらえる雰囲気づくりから始めました。まずは本に触れてもらおうとマンガを並べたり、ボードゲームを置いて昼休みに集えるようにしています。開放的な空間にするため廊下から図書館が見えるようにガラス扉を提案し3年前に採用していただきました。

Q 貸出利用率が中学生で92.9% (32%増)、高校生で78.6% (51%増) とすごい伸び率ですがどのようなことがポイントになりましたか?

A 高1生は「ビブリオ探究」という授業で「読書」を中心に研究につなげる取り組みがあります。また中1.2生は「河瀬推し本Teamバトル」で推し本を発表する機会があります。文化祭には図書館をカフェとして活用を多様化することで、来館のきっかけをつくりました。この特色ある取り組みが変化につながっています。

Q 大人でも読んでみたい本がありますね。蔵書って何冊ぐらいあるのですか?

A 約3万冊です。でも、これ以上増やすというよりは、本の表紙を見せて配置する面置きをしたり、テーマのパラエティを増やしたり読まれる工夫を重視していきたいですね。



司書 森本春菜さん



▲保護者の方にも図書館の様子を知っていただけるようにとXで発信されています。

図書館の仕掛けを沢山撮ったのですが、今回、紙面の都合で掲載できず残念! ぜひ、足を運んで見学してみてください!



成長の足跡 生徒たちの活躍

👑 科学部

高校科学部は来年も全国大会出場を決めました！が、中学科学部も頑張っています！！

無印良品でのイベントや科学の祭典、ひこねいろ文化祭への出展！東京の新渡戸文化学園と協働で中谷財団成果発表会での発表や東京スタディツアーへの参加！

次年度は新渡戸文化学園の中学生を滋賀に招待しての琵琶湖スタディツアーの実施などを構想しています！！



科学の祭典



ひこねいろ文化祭

👑 中学駅伝チーム

11月7日に行われた第6ブロック駅伝競走大会では、選手たちが全力でタスキをつなぎ、最後まで一生懸命走り抜きました。結果は、男子5位、女子4位という素晴らしい成績を収め、県大会に出場することができました。仲間を信じて走る姿は感動を呼び、応援も熱気に包まれました。この経験を糧に、来年はさらに高い目標に向かって挑戦したいと思います。引き続き温かいご声援をお願いいたします。



今年度2度目のPTA研修は4km先の滋賀県立大学へ

昨年10月3日に参加者30名で滋賀県立大学へ大学研修に行きました。地元の大学ということでアンケートでご要望があがり、夏の関西大学に続き2度目の研修となりました。滋賀県民は公募推薦が有利だったり入学金も3分の2になります。甲子園の10倍の広大なキャンパスと自然豊かな環境を歩き実際に話を聞くことでイメージが変わったと参加者の満足度は高いものとなりました。

“滋賀県立大学公式MV「カモベイパー」”



最初に見せてもらったプロモーション動画。県大出身の人しか理解できない、ディープな“県大あるある”が詰まっています。ぜひご覧ください。



学校評価アンケートのお礼

学校関係者評価（保護者）にご協力ありがとうございました。今後の学校運営及び教育活動の改善に活かしていきたいと思ひます。アンケート結果は後日、学校のホームページの方でお知らせいたします。

広報コンクールで最優秀賞を受賞！

昨年10月に発行の「志成Vol.117号 秋号」が滋賀県公立高等学校PTA連合会の選考において最優秀賞を受賞しました。

